

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年6月30日(2025.6.30)

【国際公開番号】WO2023/280697

【公表番号】特表2024-522914(P2024-522914A)

【公表日】令和6年6月21日(2024.6.21)

【年通号数】公開公報(特許)2024-115

【出願番号】特願2023-580464(P2023-580464)

【国際特許分類】

A 0 1 N 47/06(2006.01)

A 0 1 P 13/00(2006.01)

A 0 1 N 43/40(2006.01)

A 0 1 N 43/60(2006.01)

A 0 1 N 41/10(2006.01)

A 0 1 N 37/26(2006.01)

A 0 1 N 43/80(2006.01)

A 0 1 N 47/36(2006.01)

A 0 1 N 43/50(2006.01)

A 0 1 N 43/70(2006.01)

A 0 1 N 43/707(2006.01)

10

20

【F I】

A 0 1 N 47/06 Z

A 0 1 P 13/00

A 0 1 N 43/40 1 0 1 B

A 0 1 N 43/60 1 0 1

A 0 1 N 41/10 A

A 0 1 N 37/26

A 0 1 N 43/80 1 0 1

A 0 1 N 47/36 1 0 1 E

A 0 1 N 43/50 Q

A 0 1 N 43/70

A 0 1 N 43/707

30

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月20日(2025.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

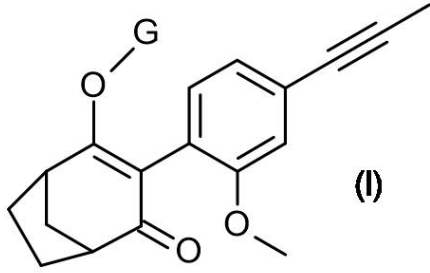
【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 除草有効量の式(I)

50

【化 1】



10

(式中、Gは、水素、 $-C(O)CH_3$ 、及び $-C(O)OCH_3$ からなる群から選択される)

の化合物と；

(B) 少なくとも1種の除草剤又はそれらの農薬上許容されるエステル若しくは塩であって、

B 1 ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPPD) 阻害除草剤；

B 2 超長鎖脂肪酸 (VLCFA) 阻害除草剤；

B 3 アセト乳酸シンターゼ (ALS) 阻害除草剤；

B 4 光化学系 II (PS-II) 阻害除草剤；並びに

B 5 テトフルピロリメット (B 5 a)、シクロピリモレート (B 5 b)、ピクスロゾン (B 5 c)、及びリミソキサフェン (B 5 d) からなる群から選択される除草剤、

20

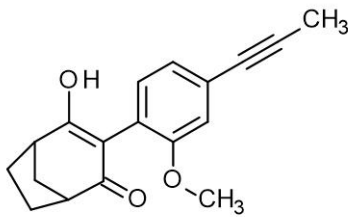
からなる群から選択される少なくとも1種の除草剤又はそれらの農薬上許容されるエステル若しくは塩と、

を含む除草剤組成物。

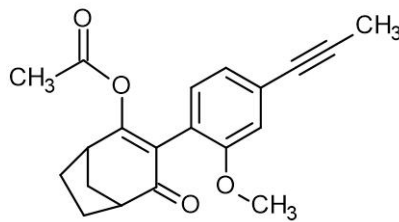
【請求項 2】

式 (I) の前記化合物が、式 (I a)、(I b)、及び (I c)

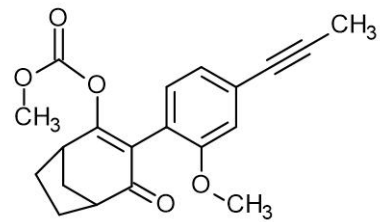
【化 2】



(Ia)



(Ib)



(Ic)

30

からなる群から選択される、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 3】

式 (I) の前記化合物が式 (I c) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 4】

成分 (B) が、HPPD 阻害除草剤 (B 1) であり、ベンキトリオン (B 1 a)、ピシクロピロン (B 1 b)、ジオキソピリトリオン (B 1 c)、フェンキソトリオン (B 1 d)、イソキサフルトール (B 1 e)、メソトリオン (B 1 f)、テンボトリオン (B 1 g)、トブラメゾン (B 1 h)、3-(イソプロピルスルホニルメチル)-N-(5-メチル-1,3,4-オキサジアゾール-2-イル)-5-(トリフルオロメチル)-[1,2,4]トリアゾロ[4,3-a]ピリジン-8-カルボキサミド (B 1 i)、及び2-フルオロ-N-(5-メチル-1,3,4-オキサジアゾール-2-イル)-3-[(R)-プロピルスルフィニル]-4-(トリフルオロメチル)ベンズアミド (B 1 j) からなる群から選択される、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

40

【請求項 5】

50

成分 B が、アセトクロル (B 2 a)、ジメテナミド (B 2 b)、ジメテナミド - P (B 2 b 1)、メトラクロル (B 2 c)、S - メトラクロル (B 2 c 1)、及びピロキサスルホン (B 2 d) からなる群から選択される V L C F A 阻害除草剤 (B 2) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 6】

成分 B が、ベンスルフロロン - メチル (B 3 a)、ビスピリバック - ナトリウム (B 3 b)、クロリムロン - エチル (B 3 c)、クロランスラム (B 3 d)、ジクロスラム (B 3 e)、フラザスルフロロン (B 3 f)、フロラスラム (B 3 g)、ハロスルフロロン - メチル (B 3 h)、イマザモクス (B 3 i)、イマゼタピル (B 3 j)、ヨードスルフロロン - メチル - ナトリウム (B 3 k)、メソスルフロロン - メチル (B 3 l)、ニコスルフロロン (B 3 m)、オキサスルフロロン (B 3 n)、ペノクスラム (B 3 o)、ピリフタリド (B 3 p)、及びトリフロキシスルフロロン (B 3 q) からなる群から選択される A L S 阻害除草剤 (B 3) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

10

【請求項 7】

成分 B が、アメトリン (B 4 a)、アミカルバゾン (B 4 b)、アトラジン (B 4 c)、プロモキシニル (B 4 d)、ジウロン (B 4 e)、ヘキサジノン (B 4 f)、メトリブジン (B 4 g)、テブチウロン (B 4 h)、テブチラジン (B 4 i)、プロメトリン (B 4 j)、プロパニル (B 4 k)、及びピリデート (B 4 l) からなる群から選択される P S - I I 阻害除草剤 (B 4) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 8】

成分 B が、テトフルピロリメット (B 5 a)、シクロピリモレート (B 5 b)、ピクスロゾン (B 5 c)、及びリミソキサフェン (B 5 d) からなる群から選択される除草剤である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

20

【請求項 9】

前記組成物が、追加の除草剤成分 (C) をさらに含む、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 10】

成分 (C) が、グリホサート、グルホシネート、2, 4 - D、及びジカンバからなる群から選択される除草剤である、請求項 7 に記載の除草剤組成物。

【請求項 11】

ある部位における雑草の防除方法であって、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

30

【請求項 12】

作物植物と雑草とを含む部位における雑草の選択的防除方法であって、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

【請求項 13】

前記作物植物が除草剤耐性形質を含む、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記作物植物が、成分 (B) 及び / 又は (C) に対する耐性が得られる除草剤耐性形質を含む、請求項 13 に記載の方法。

40

【請求項 15】

前記作物植物がダイズ又は綿である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 16】

前記雑草が、アロペクルス属の種 (*Alopecurus* sp.)、カラスムギ属の種 (*Avena* sp.)、ジギタリア属の種 (*Digitaria* sp.)、エキノクローア属の種 (*Echinochloa* sp.)、エレウシネ属の種 (*Eleusine* sp.)、ロリウム属の種 (*Lolium* sp.)、セタリア属の種 (*Setaria* sp.)、及びソルガム属の種 (*Sorghum* sp.) からなる群から選択される種を含む、請求項 11 に記載の方法。

50

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

【表 15】

表B11: 式Icの化合物及びB5d (リソキサフェン)の組合せ。

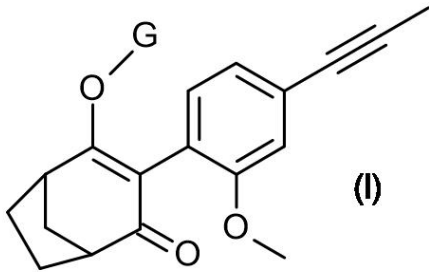
処理	LOLMU ネズミムギ(<i>Lolium multiflorum</i>) - 後 - 15DAA			
	割合 g/ha	観察	予測	差
Ic	12.5	60		
B5d	30	18		
	12.5 + 30	86	67	19

10

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

〔1〕(A) 除草有効量の式(I)

〔化 1〕



20

(式中、Gは、水素、 $-C(O)CH_3$ 、及び $-C(O)OCH_3$ からなる群から選択される)

30

の化合物と；

(B) 少なくとも1種の除草剤又はそれらの農薬上許容されるエステル若しくは塩であつて、

B 1 ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPD) 阻害除草剤；

B 2 超長鎖脂肪酸 (VLCFA) 阻害除草剤；

B 3 アセト乳酸シンターゼ (ALS) 阻害除草剤；

B 4 光化学系II (PS-II) 阻害除草剤；並びに

B 5 テトフルピロリメット (B5a)、シクロピリモレート (B5b)、ピクスロゾン (B5c)、及びリソキサフェン (B5d) からなる群から選択される除草剤、

からなる群から選択される少なくとも1種の除草剤又はそれらの農薬上許容されるエステル若しくは塩と、

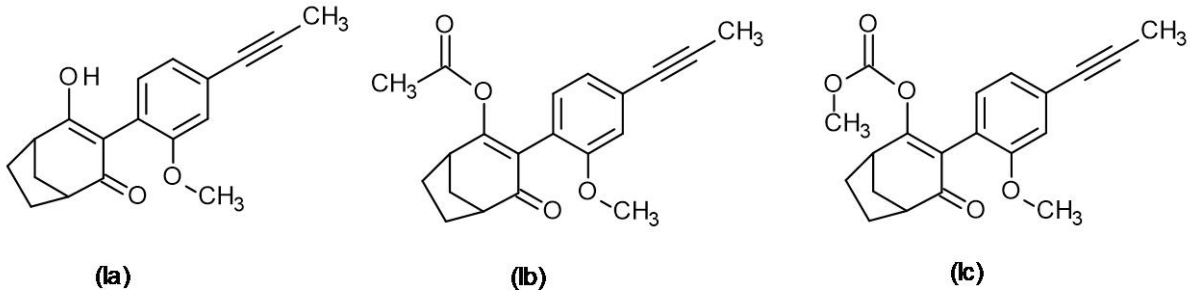
40

を含む除草剤組成物。

〔2〕式(I)の前記化合物が、式(Ia)、(Ib)、及び(Ic)

〔化 2〕

50



からなる群から選択される、前記〔1〕に記載の除草剤組成物。

10

〔3〕式(I)の前記化合物が式(Ic)である、前記〔1〕又は前記〔2〕に記載の除草剤組成物。

〔4〕成分(B)が、HPD阻害除草剤(B1)であり、ベンキトリオン(B1a)、ピシクロピロン(B1b)、ジオキソピリトリオン(B1c)、フェンキトリオン(B1d)、イソキサフルトール(B1e)、メソトリオン(B1f)、テンボトリオン(B1g)、トプラメゾン(B1h)、3-(イソプロピルスルホニルメチル)-N-(5-メチル-1,3,4-オキサジアゾール-2-イル)-5-(トリフルオロメチル)-[1,2,4]トリアゾロ[4,3-a]ピリジン-8-カルボキサミド(B1i)、及び2-フルオロ-N-(5-メチル-1,3,4-オキサジアゾール-2-イル)-3-[(R)-プロピルスルフィニル]-4-(トリフルオロメチル)ベンズアミド(B1j)からなる群から選択される、前記〔1〕～〔3〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

20

〔5〕成分Bが、アセトクロル(B2a)、ジメテナミド(B2b)、ジメテナミド-P(B2b1)、メトラクロル(B2c)、S-メトラクロル(B2c1)、及びピロキサスルホン(B2d)からなる群から選択されるVLCFA阻害除草剤(B2)である、前記〔1〕～〔3〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔6〕成分Bが、ベンスルフロ-メチル(B3a)、ビスピリバック-ナトリウム(B3b)、クロリムロン-エチル(B3c)、クロランスラム(B3d)、ジクロスラム(B3e)、フラザスルフロ-メチル(B3f)、フロラスラム(B3g)、ハロスルフロ-メチル(B3h)、イマザモクス(B3i)、イマゼタピル(B3j)、ヨードスルフロ-メチル-ナトリウム(B3k)、メソスルフロ-メチル(B3l)、ニコスルフロ-メチル(B3m)、オキサスルフロ-メチル(B3n)、ベノクスラム(B3o)、ピリフタリド(B3p)、及びトリフロキシスルフロ-メチル(B3q)からなる群から選択されるALS阻害除草剤(B3)である、前記〔1〕～〔3〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

30

〔7〕成分Bが、アメトリン(B4a)、アミカルバゾン(B4b)、アトラジン(B4c)、プロモキシニル(B4d)、ジウロン(B4e)、ヘキサジノン(B4f)、メトリブジン(B4g)、テブチウロン(B4h)、テブチラジン(B4i)、プロメトリン(B4j)、プロパニル(B4k)、及びピリデート(B4l)からなる群から選択されるPS-II阻害除草剤(B4)である、前記〔1〕～〔3〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔8〕成分Bが、テトフルピロリメット(B5a)、シクロピリモレート(B5b)、ピクスロゾン(B5c)、及びリミソキサフェン(B5d)からなる群から選択される除草剤である、前記〔1〕～〔3〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

40

〔9〕前記組成物が、追加の除草剤成分(C)をさらに含む、前記〔1〕～〔8〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔10〕成分(C)が、グリホサート、グルホシネート、2,4-D、及びジカンバからなる群から選択される除草剤である、前記〔7〕に記載の除草剤組成物。

〔11〕ある部位における雑草の防除方法であって、前記〔1〕～〔10〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

〔12〕作物植物と雑草とを含む部位における雑草の選択的防除方法であって、前記〔1〕～〔10〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用するこ

50

とを含む、方法。

〔 1 3 〕 前記作物植物が除草剤耐性形質を含む、前記〔 1 2 〕に記載の方法。

〔 1 4 〕 前記作物植物が、成分（ B ）及び / 又は（ C ）に対する耐性が得られる除草剤耐性形質を含む、前記〔 1 3 〕に記載の方法。

〔 1 5 〕 前記作物植物がダイズ又は綿である、前記〔 1 2 〕 ~ 〔 1 4 〕のいずれか一項に記載の方法。

〔 1 6 〕 前記雑草が、アロペクルス属の種（ *Alopecurus* sp. ）、カラスムギ属の種（ *Avena* sp. ）、ジギタリア属の種（ *Digitaria* sp. ）、エキノクロア属の種（ *Echinochloa* sp. ）、エレウシネ属の種（ *Eleusine* sp. ）、ロリウム属の種（ *Lolium* sp. ）、セタリア属の種（ *Setaria* sp. ）、及びソルガム属の種（ *Sorghum* sp. ）からなる群から選択される種を含む、前記〔 1 1 〕 ~ 〔 1 5 〕のいずれか一項に記載の方法。

10

20

30

40

50